

会員だより

東京ざらある記

東京駅近くに

明治維新の名残りあり
東京からある記のシリーズです。まず東京駅からすぐ近くにある三菱 1 号館です。



**東京駅南北ドーム
レリーフ (浮き彫り)**

まず東京駅からすぐ近くにある三菱 1 号館です。この建物で開催されている美術展とこの伝統的な建物を

次は駒場東大前駅から 5 分の所にある旧前田邸の和館が修復され公開されたので、足を伸ばしました。二番目はたまたま通りかかった六本木近くの乃木坂駅前にある乃木神社です。図らずも明治維新前後の政治の一場面に登場した三か所となりました。以前、に投稿したぶらある記に続いて東京駅から近い所を紹介しします。



**彫刻、造形のある
三菱館スクエア**

観たくて行きました。住所が千代田区丸の内と聞けば東京に疎い私でも一等地と想像がきます。赤レンガの建物は三菱が明治 27 年のジョサイア・コンドル(東京駅の設計者)に依頼したものを忠実に復元し、平成 22 年に開館されました。現在は美術館、ミュージアムカフェ、歴史資料館などに使われています。旧財閥三菱家の財産のひとつです。この一帯は三菱村と呼ばれている程、関連企業が建ち並んでいます。

次は駒場東大前駅から 5 分の所にある旧前田邸の和館が修復され公開されたので、足を伸ばしました。明治以降戦前まで、主に外国からの客をもてなす迎賓館として、またお茶会、端午の節句、雛祭りなどのため建築されました。洋館と和館は 50〜60m 離れていて、使用人が接待で行き来するため長い廊下で繋がっていたのが今ほとりのぞか

れています。純和風の門構えと楼閣風な二階の屋根が堂々とかまえ、大広間は伝統的な書院造り、床・違い棚・付書院(つきしよいん)・手掘りの欄間など備えた格式の高いものらしいです。明治維新で廃藩置県となり、お殿様から軍人となりながら、格式を持ちこたえた文化遺産のひとつです。さぞかし上流階級が集ったことでしょう。



**乃木神社の鳥居
都会の喧騒地域のすぐ**

二番目はたまたま通りかかった六本木近くの乃木坂駅前にある乃木神社です。維新以来仕えてきた明治天皇が崩御されたとき、乃木希典將軍夫妻が殉死したお屋敷が神社となつています。今年の NHK 大河ドラマに出てきた吉田松陰や久坂玄瑞や乃木家そのまた恩師の玉木家が姻戚関係にあり、偉人・傑人を輩出したということ、学問の神様と崇められ、試験合格祈願の絵馬が沢山ぶら下がっています。私は信心もい加減

で、ご利益だけ戴こうと手を合わせて来ましたが、神様は調子者の心をお見通しかもしれません。図らずも明治維新前後の政治の一場面に登場した三か所となりました。
記・写真：上村サト子

初午祭 伏見稲荷大社

【初午祭 伏見稲荷大社】

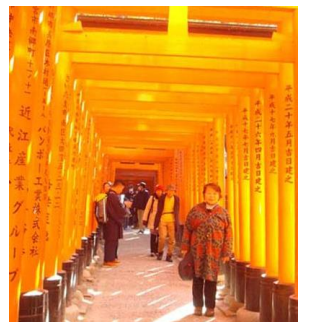
正月を過ぎて 2 月 3 日 節分 4 日 立春と続き 6 日は初午の日で「お稲荷さん」の祭りです。

私の故郷は地名も伊予市稲荷で、氏神は「伊予 正一位稲荷神社」です。子供の時はお小遣いをもらって神社にお参りして参道の屋台で好きなものを買うのが楽しみでした。

当日はお天気も良く、朝 10 時 30 分に I R 摂津富田



伏見稲荷大社 奥ノ院



を出発し伏見の稲荷大社に参拝してきました。JR 稲荷駅を下車し真正面の参道は大勢のお参りの人出に驚きました。大鳥居、山門、本殿参拝し、奥の院 千本鳥居を山頂へと登山しました。さすがに外国観光客の人気第一位観光スポット(パワースポット)だけあって、中国人をはじめ多くの外国人に出会いました。外国人女性の着物姿でお参りの人も多くいました。

千本鳥居の登山参詣は大変ハードで汗をふきふき、竹居、三ツ辻、四ツ辻まで一気に登ると汗が出て防寒具も脱ぎ捨てる次第です。とても一の峯の山頂までは登れず、途中から下山しました。帰りは名物「お稲荷セツト」のキツネ寿司とキツネうどんでした。富田に着いたのは午後 3 時頃で、都合約 4 時間の参拝でした。

平成 28 年 2 月 6 日
記・写真 成本 忠晴

四季彩

ハハコグサ(母子草)

私達には春の七草として七草粥に入れる一つで知られていますが、古名で御形(おぎょう・ごぎょう)です。1 月 7 日の粥を炊くころは地面に這って四方に葉を出して見つけにくいですが春になると 10〜30cm の茎を伸ばし、葉には綿毛がでてきます。その蕾はエーデルワイスのようです。勝手は草餅に用いられていた草だったそうだが、「母と子を白で搗くのは縁起が良くない」として、平安時代頃からヨモギに代わったとか、一部の地方では 19 世紀まで残っていたそうです。乾燥させて健康茶にも用いていたとも。ちなみに春の七草はセリ・なずな・おぎょう・はこべ・ほとけのぞ・すずな・すずしろ。



写真は三年前、野や畑から集めた我が家の七草ですが今は見つかりません。野にはチコグサもありすが、花や葉が地味で春の気配は感じられません。

平安時代から女性上位だったんでしょか。
記・写真 上村サト子